SYGN HOUSE

B+COM®

Bluetooth Communication system

B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム
TYPE:SB5X

Bluetooth®

ユーザーズマニュアル

15.06

⚠ WARNING | 運転中は安全運転を最優先として B+COM をご使用ください。

はじめに

サインハウス「B+COM（ビーコム）ブルートゥースコミュニケーションシステム SB5X」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。B+COM SB5X はデジタル無線技術「Bluetooth4.0+BLE」を採用しています。キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。本製品を安全に、良好な状態で、末永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

ご注意

・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社 WEB サイト (www.bolt.co.jp) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG,Inc. の登録商標であり、サインハウスはライセンスに基づいて使用しています。
・本製品は電波法に適合する TELEC の認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。
※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

目次

操作早見表

1. はじめに
主な特長／重要なお知らせ／安全に正しくお使いいただくために／各パーツの名称とはたらき／充電方法／電源を入れる／切る

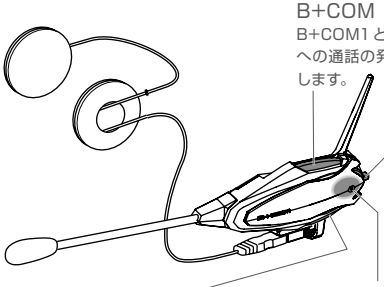
2. B+COM同士の接続・通話
B+COM同士で話す（初期登録～通話）／B+COM同士で話す（3～4人）

3. デバイスの接続・聞き取り
デバイスと接続する（初期登録）／携帯電話を操作する／音楽を聴く／ナビ音声（レーダー警告音）を聞く

4.「聴きトーク」、便利な使い方
複数の音声を同時に聞く／2台のデバイスからの入力を聞きながら会話する、または会話を出力する／使い方が広がる便利な通話機能／使い方広がるオプション品、あると便利なスペアパーツ類

5. その他
設定・登録情報をリセットする／ボイスアシストの音声内容一覧／ソフトウェアをアップデートする／仕様／こんなときは／保証書

操作早見表



B+COM 1ボタン
B+COM1 とのペアリング、B+COM1への通話の発信、終了の操作時に使用します。

ボリュームダイヤル
電源の ON/OFF、音量の調整（15 段階）、音楽再生時の曲のスキップ / 頭出し操作時に使用します。

B+COM 2ボタン
B+COM2 とのペアリング、B+COM2 への通話の発信、終了の操作時に使用します。

デバイスボタン
電源の ON/OFF、携帯電話やハンズフリー機器とのペアリング、携帯電話の発着信、通話の終了の操作時に使用します。

電源

機能	操作方法	備考
電源ON	デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に2秒間回す	本体LED 青1秒間点灯
電源OFF	デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを下に1.5秒間回す	本体LED 赤1秒間点灯
電池残量の確認	B+COM2ボタンをダブルクリック	本体LED HIGH：青1秒間点灯 MID：青＋赤1秒間点灯 LOW：赤1秒間点灯 サウンド HIGH：「B+COM Let`s Go!」 MID：「Battery MID.」 LOW：「Please Charge」

ペアリング　ペアリング時は他BluetoothはOFFにする

機能	操作方法	備考
1人目のB+COMと接続（B+COM1）	2機の電源を入れてから、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM1ボタンを1クリック（片方のみ）	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
2人目のB+COMと接続（B+COM2）	2機の電源を入れてから、両機のB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM2ボタンを1クリック（片方のみ）	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
B+COM Media Serverと接続	電源をONにしてB+COM1またはB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅→Media Serverからの着信開通を待つ	本体LED 赤高速点滅→青点滅
各種デバイスと接続（携帯電話、ナビ、トランスミッターなど）	電源OFFの状態から、デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に5秒間回す	本体LED 赤青交互点滅 →青点滅 ● 携帯電話の場合は、あらかじめBluetoothをONにしておく ● PINコードを求められる場合は「0000」を入力

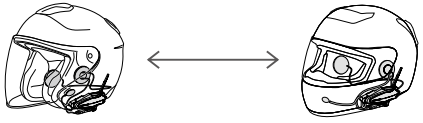
デバイス操作

機能	操作方法	備考
スピーカー音量調整（15段階）	ボリュームダイヤルを1クリックずつ回す（音量UP：上へ回す 音量DOWN：下へ回す）	B+COM通話（ICP）チャンネル、音楽（A2DP）チャンネル、携帯電話（HSP/HFP）チャンネル、はそれぞれ独立して音量調整が可能
B+COM1通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM2から着信して通話中にB+COM1ボタンを1クリック	B+COM2と着信通話中にB+COM1ボタンを押すことで、B+COM1&B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM1通話終了	B+COM1と通話中にB+COM1ボタンを1クリック（B+COM1&B+COM2と通話中は、B+COM1通話のみ終了）	
B+COM2通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM1から着信して通話中にB+COM2ボタンを1クリック	B+COM1と着信通話中にB+COM2ボタンを押すことで、B+COM1&B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM2通話終了	B+COM2と通話中にB+COM2ボタンを1クリック（B+COM1&B+COM2と通話中は、B+COM2通話のみ終了）	
音楽プレーヤー曲の再生/一時停止	デバイスボタンを1クリックで再生、再操作で一時停止 ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	B+COMデュアルトランスミッターでは、この操作でミュート/再出力
音楽プレーヤー曲のスキップ	ボリュームダイヤルを上に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
音楽プレーヤー曲の頭出し	ボリュームダイヤルを下に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
携帯電話着信応答	着信音出力後、デバイスボタンを1クリック	グループ通話時は接続できません
携帯電話終話	携帯電話通話中、デバイスボタンを1クリックまたは通話相手による終話操作	
携帯電話リダイヤル発信	デバイスボタンを3秒間長押し	
ALLリセット	デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	電源OFF状態で行ってください 本体LED 青＋赤点灯 ※手を離すと消灯
インカム通話チャンネル限定リセット	スタンバイ状態（電源ON、機器未接続）で、デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	グループ通話をする際は、一旦登録情報をリセットするとスムーズです。携帯電話やナビなどの登録情報は消えません。 電源OFF状態で行ってください 本体LED 青＋赤点灯 ※手を離すと消灯

◎B+COM使用時に、こちらのページをコピーをして簡易マニュアルとしてご利用いただけます。

主な特長

B+COM同士で走りながら「話せる！」



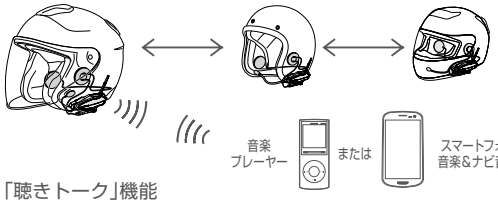
1対1の通話なら、通信可能距離は最大約1.4km

※双方の間に障害がない直線の見通し距離

迫力のステレオサウンドで「聞ける！」

走行中も携帯電話と「つながる！」

音楽やナビの音声などをステレオで聴きながら、会話が「できる！」



「聴きトーク」機能

Bluetooth4.0+BLEによる高性能なブルートゥースモジュールを2基搭載

※「聴きトーク」中は、携帯電話の発信通話は未対応です。

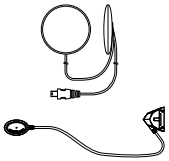
※「聴きトーク」中は、HSP/HFP出力のナビやレーダーの音声出力は未対応です。

◎オプション品を使えば、もっと便利で快適な
B+COM WORLD が楽しめます！（→15 ～19 ページ）

重要なお知らせ

保証書（本書裏ページ）が無い場合は、いかなる理由でも保証対象外です!

本体ユニット以外は消耗品になります

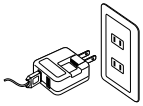


マイクやスピーカーなどは消耗品のため、過度な使用や過度な応力による破損・断線、経年劣化等の場合は、オプションのスペアパーツをご購入ください。

※保証期間内にて、通常使用での不具合（過度な使用、過度な応力による破損等以外の不具合）については、保証対象となる場合がありますので、サポートにお問い合わせください。

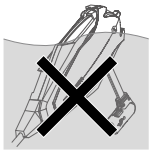
バッテリーの劣化にご注意ください

充電式



電池残量が低下したまま保管すると、内蔵バッテリーが短期間で劣化して使用できなくなります。使用後、保管前には必ず充電し、長期保管する場合は定期的な充電をしてください。

本製品は水中使用は保証しておりません！



本製品の本体部は防水構造となっており高い防水保護性能を有しています。しかし、本体はマイクが装着されてない状態では防水性が無く、また、マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。

本製品およびヘルメットの取り扱いは、大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットは安全を守る大切なギアです。そのヘルメットに装着して使用する事を想定して設計されており、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐えうる強度は有しておりません。大切にご使用ください。

◎マイクの扱いもやさしく！

安全に正しくお使いいただ

● B+COM SB5X は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
● ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
● お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
● オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
● オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
● 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。

⚠危険 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

⚠警告 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

⚠注意 指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

＜使用上の注意＞

⚠警告

● 大音量を聞きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
● 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
● 医療機器などの近くでは電源を切って下さい。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
● 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

⚠危険

● 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
● 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや micro USB ジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
● 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
● 異常状態のまま使い続けないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
● ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
● 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
● 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

くために

＜電池に関するご注意＞

⚠警告

● バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談下さい。
● 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用して下さい。指定以外の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
● AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
● 長期間使用しない時は AC アダプターをコンセントから抜いて下さい。差したままの状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。

⚠注意

● micro USB ジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

● Bluetooth について

Bluetooth®

Bluetoothとは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。
Bluetoothを使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。Bluetooth機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。
（接続するには双方のBluetooth機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります）

※Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

● 使用する電波について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として技術基準適合証明を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

機器名：B+COM SB5X

※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM SB5Xは2.4GHz帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

■ 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
■ 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
■ 免許を必要としない特定小電力無線局
■ アマチュア無線局
■ IEEE802.11g/b規格の無線LAN機器

各パーツの名称とはたらき

①スピーカー固定用面ファスナー
スピーカーをヘルメットに固定します。外面が接着シート、内面がファスナーなので、スピーカーの位置調整が簡単です。必要に応じて間に調整パッドを入れてください。

②スピーカー固定用調整パッド
ヘルメットのイヤーホールが深い等の場合は、パッドで調整してください。

③ワイヤークリップ
ワイヤークリップでヘルメット帽体へ挟み込んで固定する際に使用します。

④保護ラバー
ワイヤークリップでヘルメット帽体へ挟み込んで固定する際に使用します。

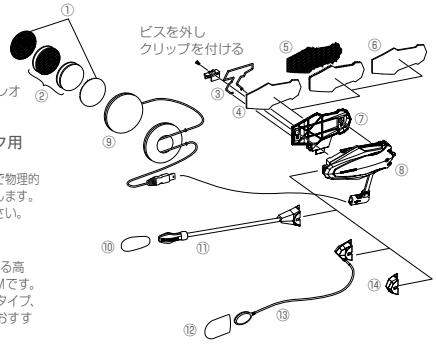
⑤面ファスナー
ベースプレートを貼り付けて取り付ける際に使用します。
ワイヤークリップ使用時は使用しません。

⑥両面粘着シート
ベースプレートを貼り付けて取り付ける際に使用します。
ワイヤークリップ使用時は使用しません。

⑦ベースプレート
面ファスナーか両面粘着シートでヘルメットに貼り付けるか、ワイヤークリップを取り付けてヘルメット帽体へ挟み込んで取り付けるベースです。

⑧本体ユニット
フェイスプレートはオプションでお好みのカラーに着せ替えが可能です。

⑨ヘルメットスピーカー R/L
径44mm、厚み約8mmの薄型、高音質ステレオスピーカーです。



⑩アームマイク用スポンジ
マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。

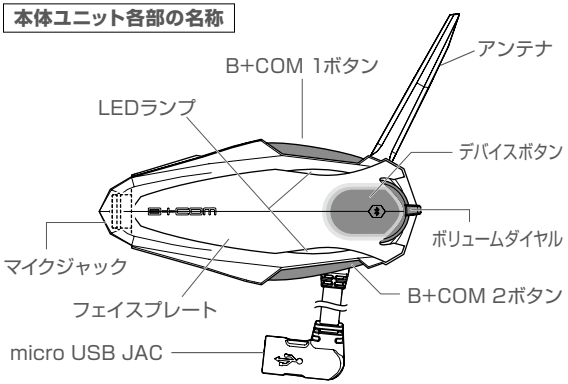
⑪アームマイク
風切り音を軽減する高性能デジタルECMです。スポーツジェットタイプ、ジェットタイプにおすすめです。

⑫ワイヤーマイク用スポンジ
フルフェイスの口元にマイクを設置する場合は必ず使用します。スポンジを口元に貼り付け、スポンジのポケットにマイクを挿入する事で物理的に風切り音を軽減します。

⑬ワイヤーマイク
フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。システムタイプ(フリップアップ)、スポーツジェットタイプの一部ではチークパッド内に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェイスの場合もチークパッド内に仕込むのも有効です。

⑭マイクレスキャップ
音楽やナビの音声などを聴くだけの時、マイクレスキャップを使用すればマイクが邪魔にならずスマートかつ快適に音声を聴けます。
※出荷時に本体装着

本体ユニット各部の名称

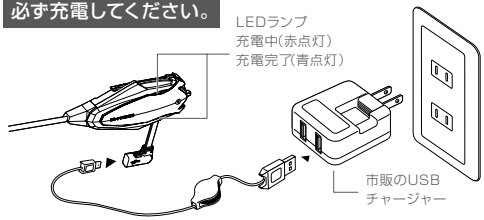


充電方法

B+COM SB5Xは内蔵バッテリーで作動します。本体ユニットと充電用USBケーブル、充電用ACアダプターをつなぎ、コンセントに接続してください。

※本体に充電用ACアダプターは同梱されておりません。
ACアダプターが必要な場合、オプション品のB+COMチャージセット Dual(商品番号 00073003)をお買い求めになるか、市販のUSBチャージャーをご使用ください。

初めて使用するときは、必ず充電してください。



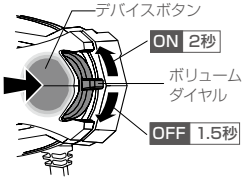
⚠ 使用後は必ず充電してから保管してください

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。バッテリー残量が少ない状態での保管は放電が進み、短期間でバッテリーが劣化してしまいます。使用後は「充電してから保管」の徹底をお願いします。

電源を入れる／切る

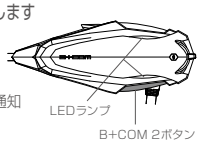
● 電源ON
デバイスボタンをクリックしたまま、2秒間ボリュームダイヤルを上に回す

● 電源OFF
デバイスボタンをクリックしたまま、1.5秒間ボリュームダイヤルを下に回す



◎電源ON時、バッテリー残量を表示します

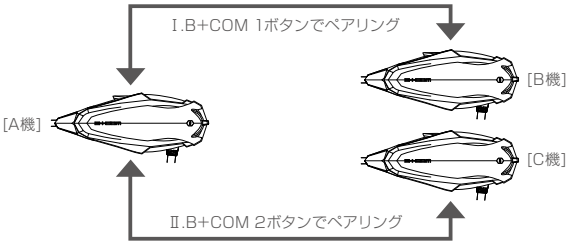
電池の残量は、
LEDランプの表示パターン
および音声によって確認できます。
- 電源をONにして、2秒後に自動的に通知
（ 起動音「トゥルルルルー」の後）
- B+COM 2ボタンをダブルクリック



LEDランプ	音声	状態
青1秒間点灯	「B+COM Let`s Go!」	良好です。 そのまま使用可能です。
青＋赤1秒間点灯	「Battery MID.」	まもなく充電が必要な 状態ですが使用可能です。
赤1秒間点灯	「Please Charge」	充電が必要な状態です。 充電してからご使用ください。

B+COM 同士で話す(初期登録～通話)

定義:B+COM同士で話すインカム通話=B+COM通話



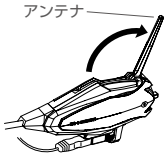
<B+COM通話をするための初期登録(ペアリング)をする>

Ⅰ.A機とB機をペアリングします。
①A機とB機の電源を入れ、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し(ペアリングモード)
②LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM1ボタンを1クリック
③LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了

Ⅱ.A機とC機をペアリングします。
①B機の電源をOFFにして、C機の電源をON
②A機とC機のB+COM2ボタンを3秒間長押し(ペアリングモード)
③LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM2ボタンを1クリック
④LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了

<B+COM通話を始める/終了する>

①アンテナを立てます。
②通話するB+COMの電源をONにします。
③ペアリング済みのB+COM1または、
B+COM2ボタンをクリックします。
④「B+COM 1 Calling」または
「B+COM 2 Calling」が出力されます。
⑤各ボタン同士でペアリングした相手に
着信音が出力され通話が始まります。
⑥通話中、各B+COMボタンを再度1クリックすると、それぞれの通話が終了します。



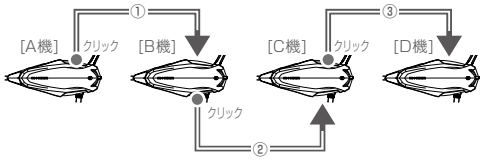
◎一度ペアリングを行うと、B+COMの情報が登録されます。
B+COM1、2の各ボタンで最後にペアリングした1台ずつの
B+COMの情報が登録されているので、2回目以降の接続は
再度ペアリングを行う必要がありません。

※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、
再度ペアリング操作を行ってください。

B+COM同士で話す(3～4人)

<B+COM SB5X同士でグループ通話する(最大4人)>

以下の①→②→③の順番でのみ呼び出し接続が可能となります。



⊘ ・➡と反対方向からの呼出は不安定になるため行わないでください。

①上図のように順番を決めます
②「インカム通話チャンネル限定リセット」を行います
※推奨(⇒P.20参照)
③上図①、②、③の組み合わせの各ボタンでペアリングを
行います
④ペアリングを全て終えたら、
A機から順番に①→②→③の順で呼び出します
⑤通話中、各B+COMボタンを
再度1クリックすると、それぞれの通話が終了
※3者通話の場合は、D機との③の操作が必要ありません。

呼び出しと着信のルール=呼び出し×1、着信×1

●呼び出し通話のルール
ペアリング済みのB+COM1またはB+COM2ボタンのどちらからで呼び出して通話している最中は、もう一方のB+COMボタンでの呼び出しは推奨しません。

●着信通話のルール
B+COM1またはB+COM2ボタンでペアリング済の相手から着信して通話している最中は、もう一方のペアリング相手からの着信通話はできません。

⚠ SB213.EVOを使用する場合は、A機およびD機としてペアリングしてください。(B機、C機の位置ではグループ通話ができません)

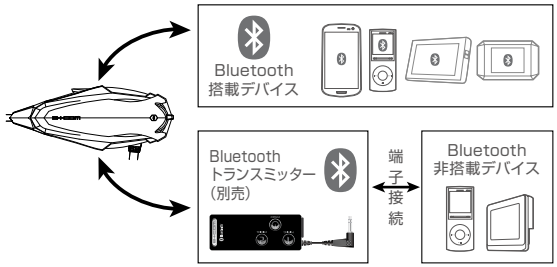
⚠ SB213.EVOを使用する場合、著しく通話品質、安定性が低下します。

⚠ グループ通話中は、1対1の2台接続よりも、3台、4台と台数が増えるとともに通話品質・通信距離も低下します。

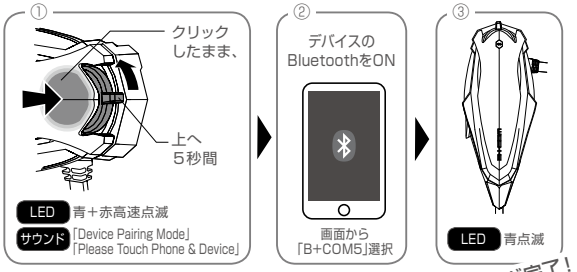
デバイスと接続する(初期登録)

B+COM SB5Xで各デバイス※(スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど)とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング(初期登録)を行う必要があります。デバイスの種類が違っても、SB5X側のペアリング操作方法は同じです。

※Bluetooth非搭載デバイスとペアリングするには、
別途トランスミッター(別売)が必要です。



①電源OFFの状態からデバイスボタンをクリックしたまま
ボリュームダイヤルを上に5秒間回す
※LEDが青色点灯しても操作を止めないでください。
②LEDが赤青に点滅したら、ペアリングしたいデバイスの
Bluetooth機能をON
③デバイス画面から「B+COM5」を選択
※PINコードを求められた場合は「0000」を入力します。
※各デバイスの操作方法は、各機の取扱説明書をご覧ください。
④B+COMのLEDが青色点滅したら、ペアリング完了
●2台目以降のデバイスをペアリングする際は、B+COMの電源をOFFにして、同じ手順を最初から行ってください。



ペアリング操作中は、B+COMおよび
ペアリングを行うデバイス以外の
Bluetooth機能をOFFにしてください。

◎一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます
ペアリングした最新デバイス 4 台の情報が登録されているので、
2 回目以降の接続は再度ペアリングを行う必要がありません。

※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、
再度ペアリング操作を行ってください。
※登録したデバイスの組み合わせによっては、2台同時に使用できない場合があります。

携帯電話の機種およびOSバージョンにより、チャンネルの切り替えや「聴きトーク」、siriなどで動作不安定になる場合があります。

携帯電話を操作する

●接続(コネクト)

Bluetooth通信をするにはペアリング済みの登録機器とSB5Xを、Bluetooth接続(コネクト)を行う必要があります。
※ペアリングを行った直後はそのまま接続されています。

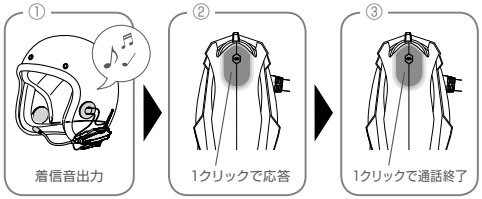
SB5Xはオートコネクト機能により接続する機器を同時に電源ON(Bluetooth機能ON)にするだけで、自動で接続されます。(起動直後のみ)※

①スマートフォンまたは携帯電話のBluetooth機能をON
②B+COMの電源をONにします。
③スマートフォンで「接続しました」等の表示が出れば、接続完了です。完了すると、SB5Xからは、「HFP ON」または「HSP ON」と出力されます。

※一定時間を過ぎた場合オートコネクトサーチは中断します。
その際はボリュームダイヤルを上に1回上げて接続をしてください。
(マニュアルコネクト ※ボリューム操作が機能しない時のみ有効)
※機種によりオートコネクト出来ない場合はデバイス側から接続操作を行ってください。

●通話／終話

①B+COM SB5Xと接続した携帯電話に着信があると、スピーカーから電話の着信音または、B+COMのコール音が出力(機器により変わります)
②デバイスボタンを1クリックすると、応答･通話開始
③再度デバイスボタンを1クリックすると、通話終了



※B+COM通話中の着信の際、上記操作をするとB+COM通話は終了します。

●リダイヤル

デバイスボタンを3秒間長押しすると、接続中の携帯電話の最新発信履歴にリダイヤルされます。
※携帯電話を2台接続している場合、2台目に接続した携帯電話からのリダイヤル発信になります。

B+COM通話中のリダイヤル発信はできません。B+COM通話を終了してからリダイヤル発信を行ってください。

●音声認識(Siri)の起動

デバイスボタンをダブルクリックすることで、iOSのSiriが起動できます。 ※iOS 8.1まで確認

※Android OS端末の音声認識の起動については未確認となっております。

音楽を聴く

スマートフォンや音楽プレーヤーとB+COM SB5Xをペアリング・接続することで、ワイヤレスリスニングとリモコン操作が可能になります。

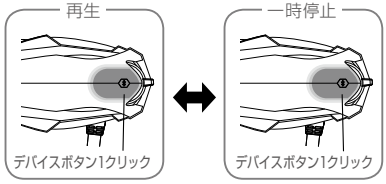
通信を行う際は、接続（コネクト）を行いますが、スマートフォンや音楽プレーヤーのBluetooth機能をONにして、SB5Xの電源ONにすることでオートコネクト機能により自動で接続を行います。「A2DP ON」と出力されれば完了です。

※一定時間を過ぎた場合オートコネクトサーチは中断します。
その際はボリュームダイヤルを上に１回上げて接続をしてください。
（マニュアルコネクト　※ボリューム操作が機能しない時のみ有効）
※機種によりオートコネクト出来ない場合はデバイス側から接続操作を行ってください。

接続が完了したら、デバイス側のミュージックプレーヤーを起動して機器側で音楽等を再生すると以下の操作が行えるようになります。

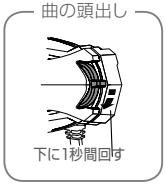
※リモコン機能[AVRCP]対応のプレーヤーのみ（別売トランスミッターは非対応）

再生／一時停止
デバイスボタンを
1クリック

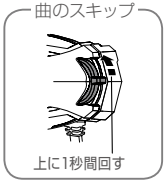


※別売の DUAL トランスミッターは、音声がミュートされます。

曲の頭出し
ボリュームダイヤルを
下に1秒間回す



曲のスキップ
ボリュームダイヤルを
上に1秒間回す



音楽プレーヤーをつないだトランスミッターと携帯電話をB+COM SB5X と同時に接続使用する場合は、先にトランスミッターを接続してから携帯電話を接続してください。

◎Bluetooth非搭載デバイスを使用するには、別売のB+COM Dual オーディオトランスミッターをお使いください。
音声を聴きたいデバイスのイヤホン端子へトランスミッターを端子接続するだけで、B+COMにワイヤレス出力できるようになります。また、タンデムで2機のB+COMに音声を飛ばし、共有することも可能です。

※ トランスミッターと携帯電話をB+COM SB5X と同時に接続使用する場合は、先にトランスミッターを接続してから携帯電話を接続してください。Android スマートフォンは登録機器リストから登録機器の設定画面を開いて「メディアオーディオ」(A2DP)のチェックを外してください。

※ 別売 B+COM Dual オーディオトランスミッターを 2 機の B+COM でペアリングする際は、トランスミッターと A 機とのペアリングを保った状態で B 機の操作を行ってください。

ナビ音声(レーダー警告音)を聴く

使用するナビを B+COM SB5X と接続することで音声案内を聴き取ることができますが、ナビの音声出力のプロファイルによって、聴こえ方が異なります。

A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]
（音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ）

携帯電話着信時:ナビ音声が出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

A2DP のナビ、レーダーの場合、音楽プレーヤーとの同時接続はできません。どちらか 1 台の接続になります。音楽を聴きながらナビの音声を聴きたい場合、ナビに音楽を入れてナビ側のプレーヤーで再生してください。

HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]
（携帯電話、スマートフォンなどのハンズフリー通話と同じ出力）

音楽再生時:音楽が一時停止してナビ音声が出力
（音楽再生に自動で戻ります※）
※自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。

携帯電話着信時:基本的にHSP/HFPナビ等との同時接続自体推奨しません。（着信操作を受けることができません）

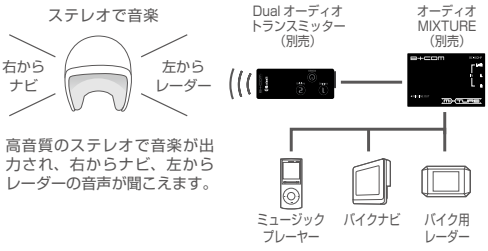
HSP/HFP 出力のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。zumo660/550、HONDA Gathers M 使用の際、携帯電話は zumo 側に接続した状態での使用を推奨します。

「聴きトーク」中の HSP/HFP の音声割り込みは、未対応です。また、接続すると接続機器の動作が不安定になります。

複数の音声を同時に聴く

オプション品を使用する
・オーディオミクスチャー2 ・Dualトランスミッター

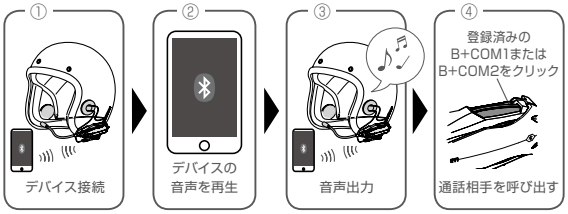
ナビやレーダーを同時に接続しようとしても不安定だったり、動作が出来ない場合があります。2つまたは、3つのデバイスの音声を同時に聴きたい場合は、オーディオミクスチャーと音声を転送するトランスミッター(別売)の使用をおすすめします。

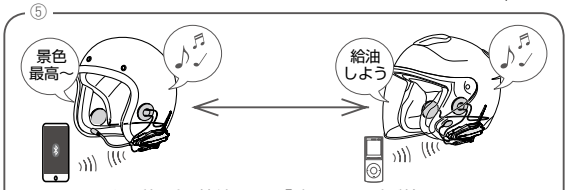


音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」

SB5Xの大きな特長、それは音楽やナビ音声を聴きながら会話ができる、ナチュラルで快適な「聴きトーク」機能です。
音声リスニング中にB+COM通話呼び出し操作を行うだけ。
使い方は簡単です。
「デバイスと接続する」&「音楽を聴く」、「B+COM同士で話す」をそれぞれ操作ができれば、それを組み合わせるだけです。

●「聴きトーク」の始め方





通話相手に接続すると「聴きトーク」が始まる

会話に集中したい場合は、デバイスボタンを押せば音楽は一時停止し、会話だけになり、再度デバイスボタンを押すことで再び音楽再生されます。

※B+COM通話が開通から数秒程度相手の声が出ない場合があります。
※オーディオ再生時、音声が断続的に途切れる場合は、一旦音楽を一時停止してください。
※聴きトーク時、距離等、電波の影響で音声が乱れると音楽の出力も同時に乱れます。

⚠「聴きトーク」中の機能制限等について

●音声案内等がHSP/HFP出力のナビ、レーダー等の音声は未対応です。(会話と同時に聴けません)

●携帯電話の着信音が鳴り、携帯電話に出ると同時にB+COM同士の通話は切断されます。電話が終了した後、再度B+COM通話呼び出しを行い通話接続をしてください。

●デバイス音声のみリスニング時に比べ、デバイス音声は少し小さくなります。(声が良く聴こえるバランスに調整されます)

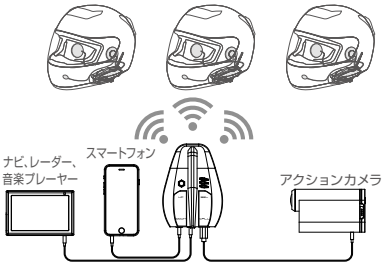
●デバイスの音量とB+COM通話の音量は個別に調整できません。
※一部、デバイス機器側のボリューム操作で調整できる場合はあります。

●自分で聴いているデバイス音声は通話相手には聴こえません。

最大3人みんなで「グループ聴きトーク」動画に会話を録音する

別売の「B+COM Media Server」と接続する

Media Serverを使えば、最大3人でBGMやナビ、レーダーなど、2系統の音声を楽しめます。
音質はモノラルですが、音楽はスキー場やビーチなどのBGM放送の聞こえ方の雰囲気があり、話が途切れても快適です。
また、みんなで同じ音を聴いているため、分岐ポイントの確認やスピードの出し過ぎ、安全確認などがみんなで共有でき、快適&スムーズなツーリングができます。
また、Media Serverは音声出力もできるので、GoPro等の動画機器にみんなの音声を動画と同時収録することも可能です。



⚠ B+COM Media Serverと接続する場合の最大通信距離はMedia Serverを中心に、半径約300m前後となります。
また、通話音質はSB5X同士よりも多少低下します。

⚠ B+COM Media Serverに接続した音声はモノラル音質です。

<B+COM Media Server(別売)とペアリング(初期登録)方法と接続方法>

Ⅰ.ペアリング(初期登録)
B+COM Media ServerとB+COM SB5Xを順番にペアリングします。SB5X側のペアリング方法は、SB5X同士のペアリング方法と同じです。

Ⅱ.B+COMを一斉に呼び出す／終話する
【一斉呼び出し】
①B+COM SB5X全機の電源をONにする
②B+COM Media ServerのCALLボタンを1クリック
③接続が完了すると、B+COM Media Serverの対応するLEDが点灯状態となる
【一斉終話】
B+COM Media ServerのCALLボタンを2クリック
【B+COM SB5X から呼び出し(接続)/終話(切断)】
操作方法は、SB5X同士の呼び出し/終話と同じ操作方法となります。

※詳しい操作説明については、MS-01の取扱説明書をご覧ください。

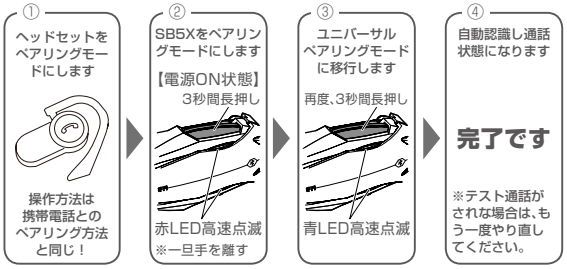
使い方が広がる便利な通話機能

＜ユニバーサルインターコール　【β版機能】＞

スマホや携帯電話と接続可能なハンズフリー通話機能がある Bluetoothヘッドセットと直接繋いでインカム通話と同様の会話が可能です。

Ⅰ.ユニバーサルインターコールのペアリング(初期登録)方法

ペアリング(初期登録)する際は、SB5Xを「インカム通話限定リセット」(⇒P.20)して、2台を限りなく近付けて(数１０センチ以内で)行ってください。



Ⅱ.ユニバーサルインターコールの通話方法

※電源起動後、1回目の通話はB+COM側操作で行ってください。
※機器により片側からしか呼出できない場合があります。
※機器により通信距離の短縮、ノイズ増、動作不安定などが起こる場合があります。

ユニバーサルインターコールの通話について

ユニバーサルインターコールの通話接続は、通話音質、通信距離、接続性、動作安定性など接続相手機器に大きく左右されます。
音声については、B+COM側のマイクで拾ったクリアな音声は接続相手へ聴こえ、相手側のマイクで拾った音声はB+COM側で聴くことなりますので、クリアな音声で会話できるのはB+COM側ではなく、相手側ヘッドセットとなり、快適に会話ができるかどうかは相手側のヘッドセット次第となることが懸念されます。
また、ユニバーサルインターコールでのグループ通話は理論上接続はできる場合がありますが、上記の理由から、実用としてのご使用は推奨できません。

使い方広がるオプション品、あると便利なスペアパーツ類

B+COM SB5Xをより快適に、楽しくするオプション品、スペアパーツをご用意しています。

商品名	商品番号	定価(税抜)
【SB5X専用スペア／オプション品】		
SB5X用 フェイスプレート ブラック 純正品	00078499	¥1,000
SB5X用 フェイスプレート クラック	00078500	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート トリコロール	00078501	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート 迷彩	00078502	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート レッド	00078503	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート ブルー	00078504	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート ホワイト	00078505	¥1,500
SB5X用 フェイスプレート グリーン	00078506	¥1,500
SB5X用 フェースプレート マットヘアライン	00078507	¥1,500
SB5X用 アームマイク 純正品	00078492	¥5,000
SB5X用 ワイヤーマイク 純正品	00078493	¥5,000
SB5X用 マイクレスキャップ	00078494	¥500
SB5X用 取付ベースセット	00078495	¥2,000
SB5X用 スポンジセット	00078496	¥1,800
ヘルメットスピーカーセット4(純正品) microUSB ストレート型	00078497	¥3,000
ヘルメットスピーカーNEO.(高音質タイプ) microUSB ストレート型	00078498	¥4,000
SB5X/MS-01共通 通信用アダプターケーブル microUSB	00078509	¥500
【B+COMオプション品】		
デュアルチャージャーセット	00073003	¥2,000
Media Server MS-01	00077558	¥22,000
MS-01 オプション 音声出力ケーブル GoPro専用　50cm	00078142	¥1,000
MS-01 オプション 音声出力ケーブル 3.5mmミニプラグ　50cm	00078143	¥1,000
MS-01 オプション スマートフォン オーディオケーブル 3.5mm4極ミニプラグ 50cm	00078144	¥1,000
BC-DAT01M Bluetooth デュアル･オーディオトランスミッター	00072456	¥12,000
B+COM Station GTS216	00073011	¥30,000
B+COM Station & BC-DAT01M専用 グランドアイソレートパワーケーブル	00073547	¥3,000
BC-X01HP オーディオミクスチャーⅡ	00074311	¥8,000
SB5X/MS-01共通 通信用アダプターケーブル microUSB	00078509	¥500

着せ替えて
オリジナル仕様に変身
好みの色に交換できる、
フェイスプレート

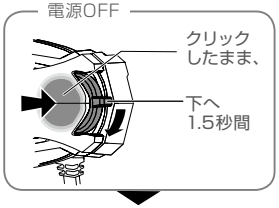
重低音をさらに強化する
高音質スピーカー
HELMET SPEAKER NEO.

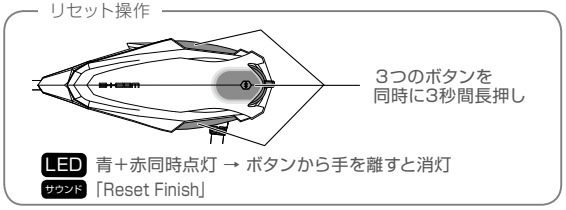
設定･登録情報をリセットする

適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、リセット作業を行い、B+COM SB5Xを初期状態に戻してください。

●ALLリセット（全ての登録情報、設定が出荷状態に初期化）

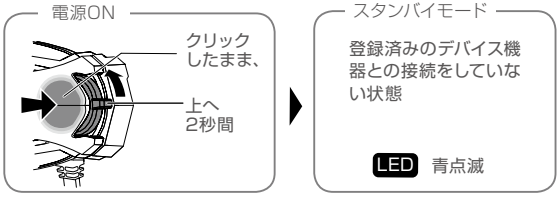
①電源OFFの状態から、B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、デバイスボタンを同時に3秒間長押し
②LEDが青赤同時点灯したら、手を離してリセット完了

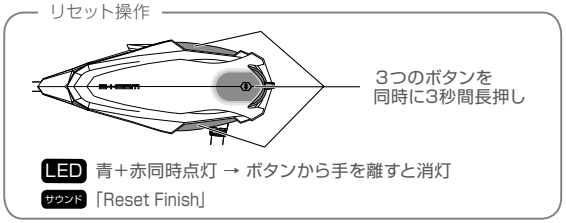




●インカム通話チャンネル限定リセット（便利なリセット機能）

①電源ONにします
②登録済みのナビや携帯電話、トランスミッターなどと接続していないスタンバイ状態にします （登録済みの機器のBluetooth機能をOFFにしてください）
③B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、デバイスボタンを同時に3秒間長押し
④LEDが青赤同時点灯し「Reset Finish」と出力されたら、手を離してリセット完了





ボイスアシストの音声内容一覧

＜ボイスアシスト　案内内容＞

【起動時に通知する音声】

･バッテリー残量
「B+COM Let's Go !」･････ ＝バッテリー残量-(多)
「Battery MID.」･･･････････＝バッテリー残量-(中)
「Please Charge」･･･････････＝バッテリー残量-(小)

･デバイス機器との接続完了（オートコネクトで接続完了した場合）
「HFP ON」････ハンズフリー
（主に携帯電話の通話機能との）接続完了
「HSP ON」････ヘッドセット
（主にデバイスのヘッドセットして）接続完了
「A2DP ON」････オーディオ機能
（音楽またはステレオナビ）接続完了

【ペアリング時の音声】

･携帯電話、ナビ、デバイス機器とのペアリング状態
「Device Pairing Mode.　Please Touch Phone & Device.」

･B+COM同士のペアリング状態
B+COM1ボタンでの操作････「B+COM 1 Pairing」
B+COM2ボタンでの操作････「B+COM 2 Pairing」

【発信および通話呼び出し】

･携帯電話リダイヤル発信
「Redialing」

･B+COM通話呼び出し
B+COM1ボタンでの操作････「B+COM 1 Calling」
B+COM2ボタンでの操作････「B+COM 2 Calling」

【その他の音声】

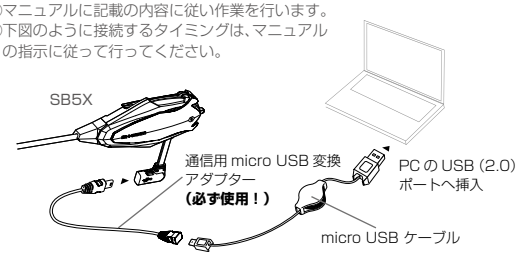
･電源OFF･･･････「Shut Down」
･リセット完了････「Reset Finish」
（ALLリセットおよびインカムリセット共通）

ソフトウェアをアップデートする

＜動作可能環境　OS:WINDOWS 7、インターネット接続＞
(2015年6月現在)

インターネットを利用して SB5X 専用のプログラムアップデートを行うことで、SB5X の機能をアップしたり、新型端末機種や接続機器への対応を最適化して快適に使用できるようにします。プログラムは SB5X（本製品）と SB4X 等の他製品とはそれぞれプログラムが異なりますのでご注意ください。
最新情報や詳細は弊社 WEB サイト (www.bolt.co.jp) にてご確認ください。

①弊社ウェブサイトでプログラムをダウンロードします。
②作業前にアップデートマニュアルを確認します。
③マニュアルに記載の内容に従い作業を行います。
④下図のように接続するタイミングは、マニュアルの指示に従って行ってください。



SB5XのPCへ接続時の注意点
- PCに接続している全てのBluetooth機器をOFFにしてください。
- USBポートに接続しているBluetoothアダプタ等(マウス等の)も取り外してください。
- PCのBluetooth機能をデバイスからOFFにするか、プログラムをダウンロード後、ワイヤレス機能をOFFにしてください。

※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。
またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

仕様

※本仕様は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth	: Ver.4.0 + BLE(Bluetooth Low Energy)
チップ	: CSR 8670×2
RF レンジ	: Class1、Class2
スピーカー	: φ44mm×D8mm、8Ω 0.5W ステレオスピーカー micro USBオス端子
Pin No.	: 0000
バッテリー	: リチウムポリマー3.7V 容量820mAh 内蔵タイプ
充電時間	: 約2時間（micro USB DC5V 0.8A時）
連続使用時間	: 待受け時間／約500時間 : B+COMインカム通話時間／最大約16時間※ : 音楽聴取時間／最大約18時間※ : 携帯電話通話時間／最大約18時間※ ※それぞれ単体で稼働した場合。使用条件により変化します。
端子	: 充電、スピーカー兼用microUSBメス端子×1、マイク専用端子×1
本体サイズ	: 98.8×45.3×24.9(mm) ※アンテナ、ケーブル除く
本体重量	: 50g
電波仕様	: 2.402～2.480GHz　データ伝送速度3Mbps（最大）
周波数拡散方式	: FHSS(Frequency Hopping Spread Spectrum
変調方式	: GFSK(Gaussian Frequency Shift Keying)
電波到達範囲	: 最大 約1.4km ※2台のB+COM 通話で双方の間に障害物の無い見通しの直線距離
対応 Bluetooth プロファイル	: GAP、HSP、HFP、ICP、A2DP、AVRCP、GAVDP
認証	: Bluetooth、TELEC、PSE
防水性能	: IP67レベル　※本体部分のみ

こんなときは

下記のような場合は、ユーザーズマニュアル、クイックマニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社 WEB サイト（www.bolt.co.jp）内、「B+COM FAQ」をご覧になるか、保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

B+COM SB5Xが携帯電話とうまく連動しない･･･

・本機の電源がONになっているかを確認してください。
・バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
・携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
・携帯電話のBluetooth機能がONになっているかを確認してください。
・本機と携帯電話のペアリング（初期登録）が正常に完了しているか確認してください。
・本機をリセットしてから携帯電話の取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。
・docomo系はBluetoothメニュー内の着信音送出設定を「送らない」に設定されているか確認してください。
・au系は本機と接続時、電話機は「接続待ち」にしてから本機のボリュームダイヤルを上へ1回押して接続してください。

通話相手にこちらの声が聞こえない･･･

・本体にマイクパーツが確実に取り付けられているかを確認してください。
・マイクの集音ホールの向きが口の方向を向いているか確認してください。

通話相手の声が聞こえない･･･

・スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
・ヘルメットスピーカー、スピーカー変換ケーブル、B+COM本体が正確に接続されているかを確認してください。

走行すると最大ボリュームでもノイズできちんと聴こえない･･･
耳の上･外側が押されて、耳が痛い･･･

停車中はきちんと聞こえても走ると音が聞こえづらい場合や、耳が痛い場合は以下を確認・お試しください。

•スピーカーと耳は大きな隙間なく正しくフィットしていますか？
耳とスピーカーの隙間に空間があると、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができません。付属のスピーカー固定用調整パッドでスピーカーが耳にフィットするよう耳とスピーカーの隙間を調整してください。

•スピーカーは耳の中心に合うよう正しい位置に固定されていますか？
耳の中心とスピーカーの中心が正しく合っていないと、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができないばかりか、大抵の場合、耳の上外付近になり耳の軟骨を押して耳が痛くなる場合があります。ヘルメットを被った時に耳の中心に来るようスピーカーの位置を調整して固定してください。
位置の目安としてはストラップの付け根付近に寄せるようにし、実際に被って音楽などを聴きながら微調整してください。

※「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態、プログラム通り機能しないなど正常に動作ができない場合があります。

保証書

保証規定

本製品の保証期間は購入日から 1 年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
ただし本製品の使用上の誤りや事故、あるいは不当な修理や改造による故障の場合には保証範囲外となります。また天災による故障の場合にも保証範囲外となります。
本製品の故障による付随的および間接的な損害（事故、傷害、利益の損失、時間の損失、不便の発生等）に関しましては、一切の責任を負いかねます。
SB5X 本体ユニット以外のマイクやスピーカー、ベースプレート等は消耗品のため保証対象外となります。使用過程での紛失や劣化、破損、接触不良等は補修部品またはオプション品をご利用ください。
送付中の製品破損を防ぐため、送付する際には梱包材を十分に使用してください。
製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。添付なき場合は無効となります。

1. 購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書
2. 送付内容（製品の種類と数量）
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

保証対応の内訳は、お客様からご送付いただいた製品の状態を見て判断させていただきますが、保証規定に従い保証期間内であっても有償となる場合があります。あらかじめご了承ください。

B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム TYPE : SB5X

■ 連絡先／製品送付先
サインハウス　〒 158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布 2-9-14
TEL : 03-5483-1711　FAX : 03-5483-1712　URL : http://www.bolt.co.jp

15.06